

3/1 ~ 4/5

〜紙を愛し・紙と遊ぶ〜  
第32回紙講座生徒作品展 (後期)



紙のまち資料館が実施している紙講座 (6 講座) のうち、書道、水引細工、紙バンド手芸の受講者が制作した作品が紹介されました。会場に訪れた方々は、色鮮やかな作品の魅力に引き込まれていました。

3/1 ~ 4/5

坂上雅明透明水彩画展



暁雨館にて、四国遍路道八十八ヶ所をテーマに描いた作品が展示されました。透明水彩画の特徴である、絵の具の濃淡の表現や美しい色の混ざり合いを生かした圧倒的な画力で描かれていました。

4/17

川之江ライオンズクラブが  
大型 LED 時計を寄贈



寄贈された時計は、しこちゅ〜ホールエントランスホール内にある大型モニター上部に取り付けられています。篠原市長は「非常に見やすく、利用者には大変好評のようです」と感謝を述べ、感謝状を贈呈しました。

3/7 ~ 4/5

第3回大カイグリ展



霧の森ギャラリーにて、絵画教室「カイグリ」の生徒 (幼児・小学生) のみなさんが1年間の集大成として制作した作品が紹介されました。できあがった作品は一人ひとりの個性がとてもよく表現されていました。

4/16

日本鯉のぼり協会が鯉のぼりセット  
(2セット) を寄贈



同協会員である株式会社村上鯉職商会の村上代表取締役は「子どもたちに、鯉のぼりを掲げる楽しみを感じてもらいたい。日本の文化に触れてもらいたい」と話し、市長から感謝状が手渡されました。

4/21

川之江こども園と土居東こども園に  
鯉のぼりセットを設置



日本鯉のぼり協会から寄贈された鯉のぼりセットの「吹き流し」には、しこちゅ〜と寄贈先の園の名前がそれぞれ入った特別なデザインとなっており、園児たちは空高く泳ぐ鯉のぼりに見とれていました。

住みなれた地域で、にこやかに幸せな生活を。

住宅型有料老人ホーム

ココロココ四国中央



問合せ ☎ (0896) 24-7581  
四国中央市下柏町661-1

住宅型有料老人ホーム

ココロココ三島



問合せ ☎ (0896) 24-2300  
四国中央市下柏町1087-1

運営・管理 株式会社ココロココ 

三島川之江インターから

三宮・大阪へ 1日11往復



京都・名古屋  
松山・高知・徳島へ  
好評運行中！

ジェイアール四国バス

家族葬祭壇デビュー

御葬儀の形態はもちろん、宗教、宗派を問わず、あらゆる葬儀に対応させていただきます



今から後悔しないために  
事前相談  
してませんか

プリエール川之江  
四国中央市妻島町2788 TEL58-6889  
プリエール三島  
四国中央市平之國1684-4 TEL 24-5600  
プリエール土居  
四国中央市土居町土屋2219  
TEL 74-2020 (三島倉庫に配達可です)



まちの話題をお届けします!

# しこちゅ〜通信



5/7

## 銅山川鮎釣りクラブと国際ソロプチミストイースト愛媛が稚鮎を放流



美しい川はみんなで守るという気持ちを育むとともに、故郷の川が子どもたちの心に残るよう美しい川へと戻すことを目的に両団体が合同で毎年実施しており、鮎の稚魚約 7,000 尾が金生川へ放流されました。

5/7

## 銅山川漁業協同組合が富郷町杉成などで稚鮎を放流



関係者など約 20 人が、大きき 10 センチメートルほどの鮎の稚魚約 13,000 尾を放流しました。坂上組合長は「天候も良く、最高の水質のなかで鮎を放流できた。大きく育てて欲しい」と話しました。

5/12

## 新宮茶の収穫



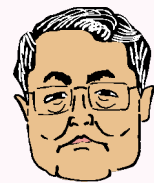
この日は、株式会社やまびこ営農部門新宮茶生産室所属の井内ひとみさんが、自身が栽培する 400 平方メートルほどの茶畑でお茶の収穫を行いました。

井内さんは、昨年度まで本市の地域おこし協力隊員であり、新宮地区でお茶栽培を始めて今年で 2 年目となります。

井内さんは「先月の霜や雪の影響が心配だったが、今日の収穫まで待ち遠しかった。新宮茶をつくる楽しみを実感している。もっと多くの人に新宮茶の魅力を知ってもらいたい」と話していました。

## シトラスリボン運動

### 市長のひとりごと



四国中央市長  
篠原 実



Citrus Ribbon  
PROJECT

「ただいま、おかえりって言いあえるまちに」  
新型コロナウイルスに感染しても、地域のなかで笑顔の暮らしを取り戻せるように、という思いをシトラス色のリボンに込め、広める運動

昔、昔、多くの人に迷惑をかけてしまうようなことをしてかして、落ち込んで、がっくりきて、家に閉じこもっていた時があった。友人や知人の激励、家族の支えもあって立ち直ることができた。今思い出しても、苦い記憶しかない人生の「コマ」である。その中で二つの言葉が今も記憶にある…

人のうわさも七十五日…

みんないろんな思いをして人生を漕いできている…

「漕ぐ」という言葉が心境にぴったしきて、そつたなと思った。

コロナウイルスで、心労を抱え治療されている患者のみなさん、献身的なご努力を頂いている医療従事者のみなさん、また、関係者のみなさんなどへ、差別的な言葉や書き込みなど、ひどい中傷が起きている。こんなことは人間として許されないという視点で、差別反対という意思表示で、シトラスリボン運動が広がってきている。

四国中央市でも、民間を含め、役所をあげて賛同して運動を盛り上げようではありませんか！